

Minato Suiyuki 2019

# 新潟みなと水遊記 記録集



開催期間 7月1日～9月30日

## ◆ 新潟みなと水遊記2019 開催イベント ◆



新潟西港の魅力を活かし、人々が集い、憩いを楽しむ場としての港の創造や新たな可能性を見出すことを目的に、身近に港を感じ新潟の夏を楽しむキャンペーン「新潟みなと水遊記」も、今年で14年目を迎えました。

2019年の新潟みなと水遊記は、7月1日から9月30日までの92日間、市民団体や企業、行政機関等により23イベントが実施され、約6万4千人の方に訪れて頂きました。「新潟みなと水遊記」を通じ、市民や観光客の皆さんに少しでも新潟西港の魅力を感じてもらい、「みなとまち新潟」を盛り上げ、広くピーアールできるきっかけになればと思っています。

開催期間：2019年7月1日～9月30日

開催場所：みなとさがん周辺、万代島周辺、みなとびあ周辺、万代テラス、  
山の下埠頭、入船みなとタワー周辺、新潟西海岸周辺

来場者：延べおおよそ 63,972名

## ◆ 新潟港 開港150周年を迎えて ◆

新潟港は、安政5年（1858年）、日米修好通商条約により横浜、函館、長崎、神戸と並ぶ開港5港の一つに選ばれ、1869年1月1日に世界に開かれた港として大きく舵を切りました。そして、新潟市は古くから河口に開かれた港町として北海道と大阪を結び、様々な物資を運ぶ北前船の往来する要の港として栄えました。

現在の新潟港は、西港区と東港区の2つに分かれ、異なる機能を持った特徴ある港となっています。

北海道や佐渡島に向かうフェリーが往来し、係留するヨット群や漁船基地など、新潟が港町であることを実感できる空間が広がる新潟西港は、2019年1月1日の開港150周年を機に、更なる魅力形成と活性化が取り組まれています。



## ■新潟開港150周年ロゴマーク



## &lt;ロゴコンセプト&gt;

黄色いリボンは、灯台のサーチライトが未来を照らし、人々を導くフラッグになるとともに、ヒト、モノ、情報が集まり、「出会う」ことによって新しさが生まれ、更新される広がり表現している。その上にNiigataや新しい(New)のNが浮かび上がる。水色のボーダーを組み合わせ、港らしさを演出。3本のラインは、信濃川、阿賀野川、日本海を表現している。

## ■キャッチコピー

## Starting port

みんなで作る、みなとまち新潟スタート！

いつ訪れても新しい。訪れるたびに発見がある。

そして、ふとした時に思い出す。

めざすのは、そんな変わり続けるみなとまち。

港から川へ、そして街へ。

人、モノ、情報、文化、歴史、感情、情熱、息づかい・・・

あらゆるものが行き交い、出会い、融合し、

またときにはぶつかりながら、新しいエネルギーが生まれていく。

みなとまち新潟は、ここに暮らす人とここを訪れる人、

みんなで作る運動体。

新潟開港150周年。

あなたといっしょに、新しいスタートをきります。

# Minato Suiyuki 2019 イベント会場 MAP



## 「ミズベリング」とは



かつての賑わいを失ってしまっただ日本の水辺の新しい活用の可能性を、創造していくプロジェクトです。

水辺に興味を持つ市民・企業・行政が三位一体となって、ソーシャルなムーブメントを、次々と起こしていきます！

詳細は「新潟市 ミズベリング」と検索

## 「What's Niigata」とは



事業の説明はこちらをチェック

新潟開港150周年を受けて、一人ひとりが想い描く新潟の姿(イメージ)を見つめ直し、魅力ある発展のために市民と共に考え行動していくキャンペーンを展開しています。新潟みなと水遊記と連携して、港から新潟の魅力を発信します！

## 「みなとオアシス」とは



詳しくはこちら

「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設を「みなとオアシス」として登録しています。



## 1 ピアBandai手ぶらでBBQピアプラザ

来場者数 8,752名 (7/1～9/30)

4/20(土)～6/30(日)、10/1(火)～11/4(月)は土・日・祝日営業、  
7/1(月)～9/30(月)は毎日営業11:00～19:00  
※7/20(土)～8/31(土)は11:00～21:00

ピアBandai ピアプラザ

今年もおかげさまで多くのお客様で賑わうことができました。

毎年予約してくれる団体様や、県外からBBQを楽しみに来てくれるお客様も多かったです。  
来年も引き続き開催したいと思います。



【お問い合わせ先】

万代にぎわい創造株式会社 TEL:025-249-2560



## 2 第13回 萬代橋サンセットカフェ

来場者数 約 6,500名

6/1(土)～9/29(日)  
平日 17:00～22:00、土日祝11:00～22:00  
(ラストオーダー21:30) 雨天荒天時はお休み

万代テラス(中央区万代3)

港エリアのにぎわいを創出することを一つの目的として、昨年度同様に万代テラスで開催しました。毎年お馴染みのコンサートを実施するなどして、県内外を問わず、多くの方にご来場いただきました。新潟の港の魅力を感じてもらえる空間を提供できたのではないかと感じています。



【お問い合わせ先】

新潟市中央区建設課 TEL:025-223-7410



## 3 クルーズ船「にっぽん丸」寄港

来場者数 約 400名

7月2日(火) 着岸9:00 離岸12:00

西港 山の下ふ頭 北側岸壁

クルーズ客船「にっぽん丸」(全長約166.6m、22,472トン)が、新潟港を出発し、利尻島・奥尻島を巡り、帰ってきました。

お客様の下船時には、新潟市のご当地キャラクター「笹団子郎」と「花野古町」がお出迎えました。



【お問い合わせ先】

新潟市国際観光課 TEL:025-226-2614



## 4 第34回新潟ジャズストリート

来場者数 7,000名

7/13(土)・14(日) 10:00～23:00

新潟市内 各日約25会場

新潟市国際親善名誉市民でジャズの巨匠、デューク・エリントンのメモリアルとして年2回開催される新潟ジャズストリート。2日間で計262公演が行われ、来られた方々に多彩な演奏を楽しんでいただきました。当日は、厳しい暑さにもかかわらず、どの会場も盛況でした。



【お問い合わせ先】

NPO法人新潟ジャズストリート実行委員会  
TEL:025-223-4349



## 5 「開港場新潟」展

来場者数 4,442名

7/13(土)～8/25(日) 9:30～18:00

新潟市歴史博物館(みなとびあ)

新潟開港150周年記念事業の一環として開催されました。江戸時代後期に新潟町が幕府の直轄領となり、開港を迎えるまでの道程、明治以降の政策によって近代化が進められていく町並み、社会と経済の様相を、古文書や写真、絵画など186点の展示資料を通じて紹介しました。資料に関する解説会や講演会も開催し、多くの参加者がありました。当時のみなと町としての、歴史や文化に対する関心と理解を深める機会としていただくことができました。



【お問い合わせ先】

新潟市歴史博物館(みなとびあ)  
TEL:025-225-6111 FAX:025-225-6130

## 6 第13回ビーチライフIN新潟

来場者数 約 2,600名

7月28日(日) 10:00～

新潟市 日和山浜海水浴場

今年で13回目の開催となる本イベントは、明け方まで降り続いた雨がやみ、絶好の気候のなかで開催されました。メイン会場ではキッズダンスや万代太鼓、タヒチアンダンスが披露され、各種ビーチスポーツ大会では様々な熱戦が繰り広げられました。また、今年も水上バイクなどのマリンスポーツ体験が開催され、日和山浜が賑わいの場となった1日でした。



【お問い合わせ先】

ビーチライフIN新潟実行委員会  
TEL:025-223-3532



## 7 親子みなと見学会

来場者数 68名

8月6日(火)～8日(木) ①13:30～ ②14:30～

新潟港湾・空港整備事務所

小中学生とその保護者を対象に、みなとの役割や重要性を学ぶとともに、地元の方への愛着や関心を持ってもらえるよう、港湾業務艇「あさひ」に乗って船上見学会を実施しました。

3日間とも好天に恵まれ、波も穏やかな乗船日和となりました。26組の方に参加して頂きました。普段の暮らしとも関わりの深い港について、関心を抱いてもらう良い機会になったと思います。



【お問い合わせ先】

新潟港湾・空港整備事務所 TEL:025-222-6111  
FAX:025-227-3170



## 8 「水理実験場」一般公開

来場者数 156名

8月6日(火)～8日(木)

新潟港湾空港技術調査事務所(水理実験場)

本年は特別に、午前中に新潟開港150周年記念事業実行委員会主催の「みなとまち新潟探検隊」の見学会、午後からは当事務所の水理実験場の一般公開という構成での開催となりました。実験場では業務概要DVDを視聴後、鳴り砂体験と液状化現象の実験、消波ブロックと防波堤の模型について説明を行い、平面水槽で3種類の波のデモンストレーションを見学して頂きました。ご家族での参加も多く、自由研究の課題にするのだと一生懸命ノートにメモするお子様の姿が印象的でした。皆様、暑い中お疲れ様でした!



【お問い合わせ先】

新潟港湾空港技術調査事務所  
TEL:025-222-6115 FAX:025-227-1205



## 9 クルーズーヨット体験乗船

来場者数 48名

8月3日(土) 10:00～

万代島 大かま前岸壁

参加者の皆様からは、大変好評のご意見をいただきました。海の上と言う非日常の中で、風の中で走るヨットに、皆さま、お喜びいただきました。

なかには「3年連続で抽選に当たり、家族で楽しませていただきました。」という方もいらっしゃいました。



【お問い合わせ先】

新潟オフショアセーリングクラブ  
TEL:090-2228-1146(担当:平井)

## 10 多用途支援艦「ひうち」一般公開

来場者数 約2,600名

8月3日(土)・4日(日)

西港 山の下埠頭岸壁

新潟開港150周年記念事業として、海上自衛隊多用途支援艦「ひうち」による艦艇広報を実施しました。両日とも晴天で大変暑い中での広報活動となりましたが、夏休み期間ということもあり、約2600名と多くの方の来場を得ることができました。自衛隊に対する理解と信頼の向上、募集・護衛基盤の拡充及び同記念事業の成功に寄与することができたと感じております。



【お問い合わせ先】

防衛省・自衛隊新潟地方協力本部  
TEL:025-285-0515 FAX:025-285-0510



## 11 新潟まつり 水上みこし渡御

来場者数 1,000名

8月10日(土) 12:40～13:30

旧水産物物揚場→本間組新潟工事事務所前着船

神輿が始まると、新潟市消防音楽隊の演奏が響き渡り、祭りの空気を一層盛り上げました。担ぎ手たちにより信濃川右岸へ運ばれた神輿は、華やかな御座船に乗せられ、約30隻の船舶たちと水上パレードを行いました。皆様のご協力を頂き、無事にイベントを実施することができました。「水の都にいがた」を象徴する伝統行事として、今後ともよろしく願いいたします。



【お問い合わせ先】

新潟まつり実行委員会(新潟商工会議所)  
TEL:025-290-4411 FAX:025-290-4421



## 12 新潟まつり大花火観覧クルーズ

来場者数 92名

8月11日(日) 18:15~21:30

萬代橋西詰発着 昭和大橋下流停泊

特製花火弁当もご用意したスペシャルクルーズ。

毎年ご好評頂いている本企画ですが今年も1隻から2隻での対応となり、より多くの方に水上の特等席を提供することができました。お客様方のお帰りになる際にも大変ご満足いただけた様子でした。



【お問い合わせ先】

信濃川ウォーターシャトル株式会社  
TEL:025-227-5200 FAX:025-227-5203



## 13 お盆ナイトクルーズ

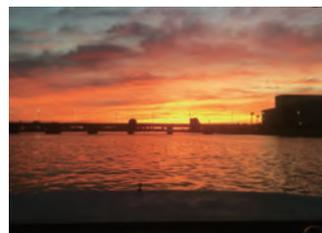
来場者数 84名

8月12日(月・祝)~17日(土) 18:00~18:25

朱鷺メッセ発着 りゅーとぴあ付近経由

毎日運航している朱鷺メッセ発着25分間の周遊便を、今年もお盆の時期に合わせて増便しました。

日没には少し早い時間ではありましたが、涼しい風に当たりながら眺める美しい夕景を、皆様楽しんで頂きました。



【お問い合わせ先】

信濃川ウォーターシャトル株式会社  
TEL:025-227-5200 FAX:025-227-5203



## 14 第16回 夕涼みコンサート

来場者数 約370名

8月17日(土) 18:00~20:00

新潟市歴史博物館(みなとぴあ)

「新潟下町をよくする会」との地域連携事業として今年も開催されました。お天気に恵まれ、お月様も上空に輝いていました。ご来場頂いた皆さまは、川風にふかれ、暫し、暑さを忘れ、思い思いに音楽を楽しむ姿がたくさん見られました。このイベントの特徴の一つは、開放感のある芝生広場で、ライトアップされた博物館の美しい建物を眺めながら、ゆったりと心地よい演奏を楽しむことです。今年も多種多様な音楽で存分に楽しませていただきました。



【お問い合わせ先】

新潟市歴史博物館(みなとぴあ)  
TEL:025-225-6111 FAX:025-225-6130

## 15 第17回 萬代橋誕生祭

来場者数 約25,000名

8月24日(土) 11:00~20:00

萬代橋東詰広場、萬代橋西詰広場、万代テラス、みなと・さがん

当日は天候に恵まれ、例年よりも多くの方にご来場いただきました。

事故等のトラブルも無く終えることができ、萬代橋の歴史や功績を、楽しみながら再認識して頂いたものと感じています。



【お問い合わせ先】

萬代橋誕生祭実行委員会事務局  
(新潟市中央区建設課内 TEL:025-223-7410)

## 16 信濃川クルーズ体験×万代テラスイベント

来場者数 147名

8月25日(日) 【信濃川クルーズ】①16:00~16:50 ②17:00~17:50 ③18:00~18:50 / 【万代テラスイベント】15:00~19:00

万代テラス

信濃川ウォーターシャトルによるクルーズ体験と万代テラスでの各種イベントを開催しました。参加者は、当所会員と一般参加者で、萬代橋から河口付近まで、約50分の水上周遊を楽しみました。また、乗船場所の万代テラスでは、ステージブースや飲食ブース、縁日屋台などが併設され、ご家族で楽しんでいる様子が見られました。



【お問い合わせ先】

新潟商工会議所 TEL:025-290-4411  
FAX:025-290-4421



## 17 みなと・しもまち・川祭り2019

来場者数 約 500 名

8月25日(日) 18:00~20:00

新潟市歴史博物館(みなとびあ)

ご家族でいらっしゃった方も多く、たくさんの灯籠の中からお子様が作った明かりを探し、微笑ましい姿が見られました。旧新潟税関庁舎の前には小さなLED照明を置き、石段や道、旧河道には、地域の方々が作ってくださった500個の灯籠の明かりが灯りました。村山佳代子さんと中沢明美さんによるフルート演奏も行われ、会場は幻想的な雰囲気に包まれました。この川祭りは「新潟北部開発協議会」の皆様が主催して頂き、会場づくりは新潟柳都中学校の生徒さんが手伝って下さいました。皆様、どうもありがとうございました。



【お問い合わせ先】

新潟市歴史博物館(みなとびあ)  
TEL:025-225-6111 FAX:025-225-6130

## 18 クルーズ船「飛鳥II」寄港

来場者数 約 1,500 名

9月3日(火) 着岸11:00/離岸13:30  
9月5日(木) 着岸14:30/離岸20:00  
9月9日(月) 着岸 8:30/離岸17:00

西港 山の下ふ頭 北側岸壁

国内最大級のクルーズ船「飛鳥II」(全長241m、50,142トン)が、新潟港に寄港しました。9/3と9/5は新潟港発着の函館クルーズ。出港時には、新潟万代太鼓「華龍」による演奏が行われました。9/9は北海道発着のクルーズで新潟港に寄港しました。当日は、岸壁で西区黒崎茶豆と日本酒を振舞い、出港時には新潟万代太鼓「華龍」の演奏でお見送りしました。



【お問い合わせ先】

新潟市 観光・国際交流部 国際観光課  
TEL:025-226-2614

## 19 クルーズ船「ばしふいっくびいなす」寄港

来場者数 約 250 名

9月6日(金) 着岸8:00/離岸10:30  
9月8日(日) 着岸14:00/離岸18:00

西港 山の下ふ頭 北側岸壁

クルーズ船「ばしふいっくびいなす」(全長183.40m、26,594トン)が5年ぶりに新潟港へ寄港しました。今回は境港を寄港地にした新潟発着の週末クルーズでした。出港時には新潟万代太鼓「華龍」の演奏、テーブルシャワーが行われました。



【お問い合わせ先】

新潟市 観光・国際交流部 国際観光課  
TEL:025-226-2614



## 20 月待ちの会

来場者数 12 名

9月13日(金) 18:30~20:00

萬代橋西詰発着 西港周辺

中秋の名月をお月見弁当と共に楽しむ恒例イベント。

今年は天候にも恵まれて、見事な満月を愛でながら特製弁当に舌鼓を打つことができました。常連のお客様方にも、とても喜んでいただけたようです。



【お問い合わせ先】

信濃川ウォーターシャトル株式会社  
TEL:025-227-5200

## 21 2019月待ち湊

来場者数 800 名

9月14日(土) 17:00~20:30

入船みなとタワー前【月待ち広場】

今年も、びっしり東の空から月がのぼる瞬間を見ることができました。何回見ても、真っ赤な大きな月は、この世のものとは思えないくらい幻想的で、大自然の営みと厳粛さを感じます。その足元に人間が削った港があり、この対比の妙を愉しめる贅沢は、入船みなとタワーと広大な敷地があつてのことだと思えます。会場のみならず同じ感慨を抱かれたことでしょう。SNSの普及のせいででしょうか、このところ若いファミリーが多く、新潟の秋の風物詩として定着しつつあることを実感しています。



【お問い合わせ先】

NPO法人にいがた湊あねさま倶楽部  
TEL:080-6542-3817



来場者数 1,627名（7/1～9/30）

9月14日（土）～12月8日（日）（10月以降は17：00まで）

新潟市歴史博物館（みなとびあ）

毎年小学生を主な対象として、昭和30年代までの暮らしの様子や生活の知恵、人々の様々な工夫を伝える「むかしの暮らし展」を開催しています。第16回目となる今回は、「布とむかしの暮らし」と題して、新潟市域でかつて行われていた布の生産の様子や、昭和30年代ごろの暮らしの様子を紹介しました。新潟市の特色ある布である亀田縞の野良着などのほか、洗濯板、タンスなど56点を展示しました。関連事業として、子どもたちに洗濯板など昔の道具を実際に使う体験をしていただきました。



【お問い合わせ先】

新潟市歴史博物館（みなとびあ）

TEL:025-225-6111 FAX:025-225-6130

来場者数 24名

9月21日（土）9：30～12：00

新潟市歴史博物館前港湾緑地（集合場所）

新潟西港の柳都大橋下流の港湾エリアにおける、港ゆかりの施設や旧跡などを自転車でゆっくり巡りながら周遊し開港都市にいがたの魅力を見つけてもらうイベントです。

今年はお天気にも恵まれ、市内各地から参加の24名で楽しい汗をかくことができました。



【お問い合わせ先】

NPO法人新潟みなとクラブ

TEL:090-7847-7709（担当：阿部）



# みなとオアシス新潟

設置者：新潟市

登録：平成19年3月（港湾局長登録 H29.2）

場所：新潟県新潟市（新潟港西港区）

## 食と花のみなとまち にいがた

・みなとオアシス新潟は、信濃川の河口にあり、明治元年に開港した新潟港（西港区）の賑わいエリアです。

・みなとオアシス新潟には、新潟の歴史・文化を展示している「新潟市歴史博物館（みなとびあ）」、市民の憩いの場である「信濃川左岸緑地」、晴れた日に日本海に沈む夕日を間近に見る事ができる「山の下みなとタワー」・「入船みなとタワー」、佐渡航路のある「佐渡汽船ターミナル」といった施設があります。

【代表施設】  
新潟市歴史博物館（みなとびあ）



新潟は、2019年(平成31年)1月1日に開港150周年を迎えました。新潟市は万代島旧水揚場跡地を改修し、「万代島多目的広場」として、平成30年3月10日に供用を開始。これにあわせ、『みなとオアシス新潟』に追加施設登録を行いました。供用開始後は、スポーツイベント等交流拠点として利用されます。

また、海水浴やビーチイベントで市民に親しまれている「新潟港海岸」、地域住民のウォーキングやシティマロンコースとして利用されている「新潟みなとトンネル」、北海道・秋田・敦賀との定期カーフェリー航路のある「新日本海フェリーターミナル」、そして賑わいエリアを広げる「新潟西港水域」もあわせて追加登録を行いました。



新潟港海岸



新潟みなとトンネル



新潟西港水域



新日本海フェリーターミナル



万代島多目的広場（大かま）

【お問合せ】

新潟みなとまちづくりネットワーク  
新潟みなと水遊記2019事務局  
(新潟港湾・空港整備事務所 企画調整課内)

〒951-8011 新潟市中央区入船町4-3778

TEL:025-222-6111(代表)

HP: <http://www.niigata.pa.hrr.mlit.go.jp/>